

平成26年3月期第1四半期 決算説明資料

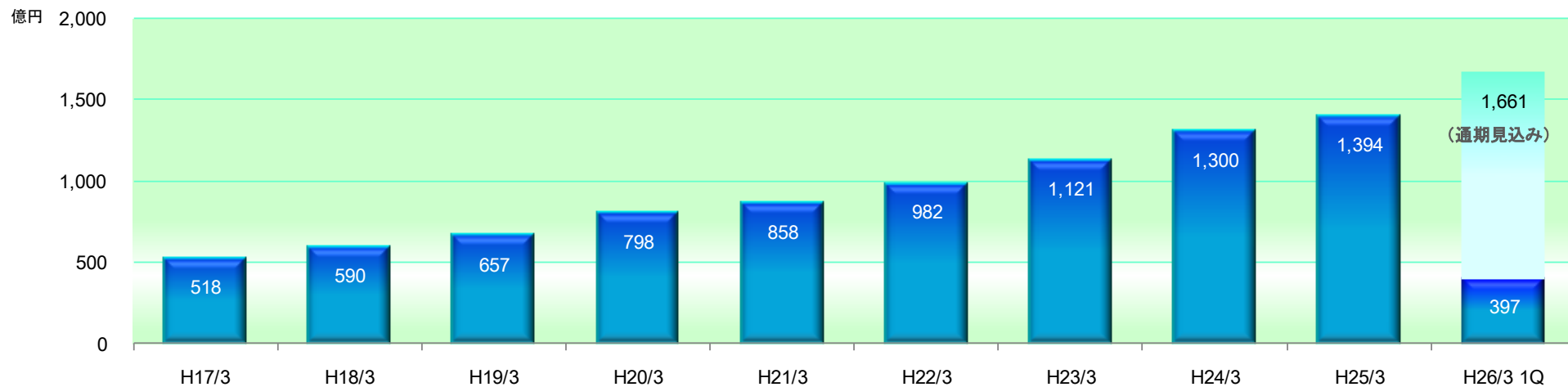
平成25年8月2日

【本資料に関する注意事項】

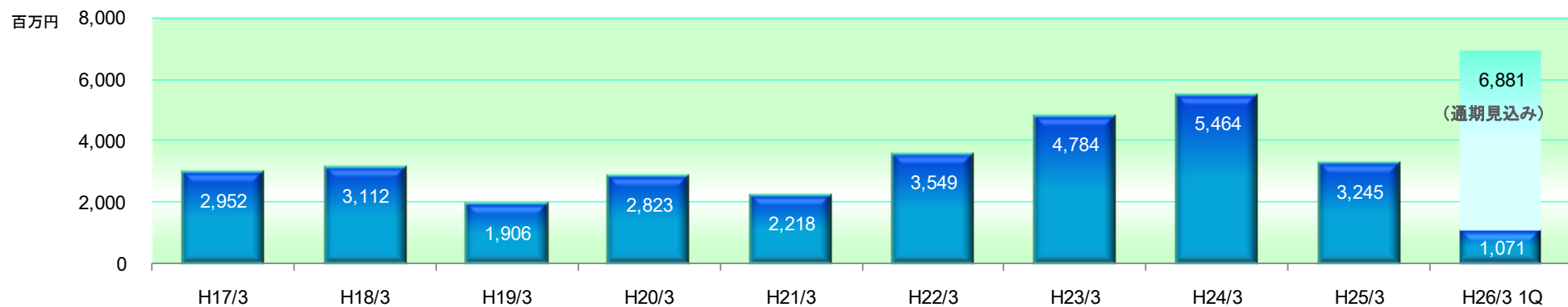
本資料は、本年7月31日に発表しました「平成26年3月期 第1四半期決算短信」の決算補足説明資料として、同期間の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績見込み、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のため作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

 日本調剤株式会社 (証券コード 3341)

連結売上高推移



連結営業利益推移



4月より長生堂製薬株式会社を子会社化。
今年度は調剤報酬と薬価の改定がなく、
前年同四半期に対して売上高・収益ともに大幅改善。

(単位:百万円)

	H24/4-6	H25/4-6	対前年同期 増減額	同 増減率	H26/3 通期予想※
売上高	33,304	39,733	6,428	19.3%	166,196
売上原価	28,321	33,440	5,118	18.1%	137,748
売上総利益	4,982	6,292	1,309	26.3%	28,448
販管費	4,703	5,220	517	11.0%	21,566
営業利益	279	1,071	792	284.0%	6,881
経常利益	180	946	766	423.7%	6,413
四半期純利益	25	378	353	1,396.0%	3,290

※平成25年4月30日付 公表数値

調剤薬局事業は処方せん単価の上昇と前年出店店舗が寄与。
 医薬品製造販売事業は長生堂製薬の子会社化により大幅増収。
 医療従事者派遣・紹介事業は薬剤師派遣紹介を主に拡大を続ける。

(単位:百万円)

	H24/4-6	H25/4-6	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
調剤薬局事業	31,269	35,040	88.2%	3,770	12.1%
うち一般薬等売上	434	452	1.3%	17	4.1%
医薬品製造販売事業	1,254	3,704	9.3%	2,450	195.4%
医療従事者派遣・紹介事業	780	988	2.3%	207	26.6%

※セグメント間及びセグメント内取引は消去しております。

昨年10月の「業績改善へ向けた取り組み」以降、経費削減を継続。
 薬価改定のない年度であり、直前期末の在庫圧縮を行っていないため、
 期初の在庫回復仕入に伴う消費税負担がない。
 研究開発費をはじめ、長生堂製薬子会社化による増加分あり。

(単位:百万円)

	H24/4-6	H25/4-6	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
販 管 費	4,703	5,220	14.1%	517	11.0%
（ 給 与 手 当 ）	713	833	2.1%	119	16.8%
（ 賃 借 料 ）	499	535	1.3%	36	7.4%
（ 消 費 税 等 ）	1,398	1,434	3.6%	35	2.5%
（ 研 究 開 発 費 ）	234	448	1.1%	214	91.5%

主な増減要因

【販管費】
 ・給与手当
 ・研究開発費
 （長生堂製薬連結による）

※構成比は売上に対する比率

(単位:百万円)

	H25/3末	H25/6末	増減額
流動資産	43,037	55,188	12,150
固定資産	52,102	59,446	7,344
有形固定資産	32,459	38,690	6,231
無形固定資産	9,423	10,048	624
投資その他	10,219	10,708	488
資産合計	95,140	114,635	19,494
流動負債	44,702	57,640	12,937
固定負債	35,735	40,144	4,409
負債合計	80,437	97,784	17,347
純資産合計	14,702	16,850	2,147

主な増減要因

【流動資産】

- ・現金及び預金 +3,047
- ・受取手形 +1,206
- ・売掛金 +1,190
- ・原材料及び貯蔵品 +2,991

【固定資産】

- ・土地 +1,591
- ・建設仮勘定 +2,152
- ・のれん +397

【流動負債】

- ・買掛金 +3,769
- ・支払手形 +2,830
- ・短期借入金 +4,400

【固定負債】

- ・長期借入金 +3,025

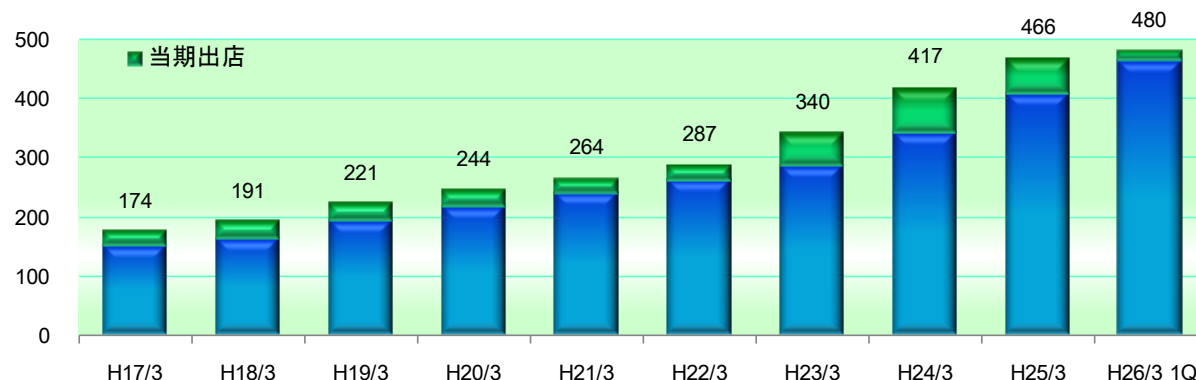
【純資産】

- ・利益剰余金 +125
- ・少数株主持分 +2,103

H25/4-6 実績	
出店数	14
閉店数	0
総店舗数(6月末)	480

※物販專業の1店舗を含む

各期末店舗数推移



当四半期出店

4月出店	
奥沢駅前薬局	東京都世田谷区
鷺ノ宮薬局	東京都中野区
荻窪薬局	東京都杉並区
登戸薬局	神奈川県川崎市
六浦薬局	神奈川県横浜市
白鳥薬局	香川県東かがわ市

5月出店	
新座薬局	埼玉県新座市
蒲田本町薬局	東京都大田区
新大船薬局	神奈川県鎌倉市
横沢薬局	山梨県甲府市
横沢北薬局	山梨県甲府市
中村薬局	愛知県名古屋市

6月出店	
富士高島薬局	静岡県富士市
みなとじま薬局	兵庫県神戸市

主な開局店舗



	H25/6末 店舗数	H25/4-6 開店数	H25/4-6 閉店数	H25/3末 店舗数
北海道	43	0	0	43
東北	39	0	0	39
関東	241	8	0	233
うち東京都・神奈川県	181	7	0	174
甲信越	21	2	0	19
東海	36	2	0	34
関西・北陸	46	1	0	45
中国・四国	30	1	0	29
九州	24	0	0	24
計	480	14	0	466

店舗数に物販専門の1店舗(神奈川県)を含む

改定なき年度であり、処方せん単価上昇。
既存店についてもオペレーション改善により売上増加。

【日本調剤グループ 出店期別店舗調剤売上推移】

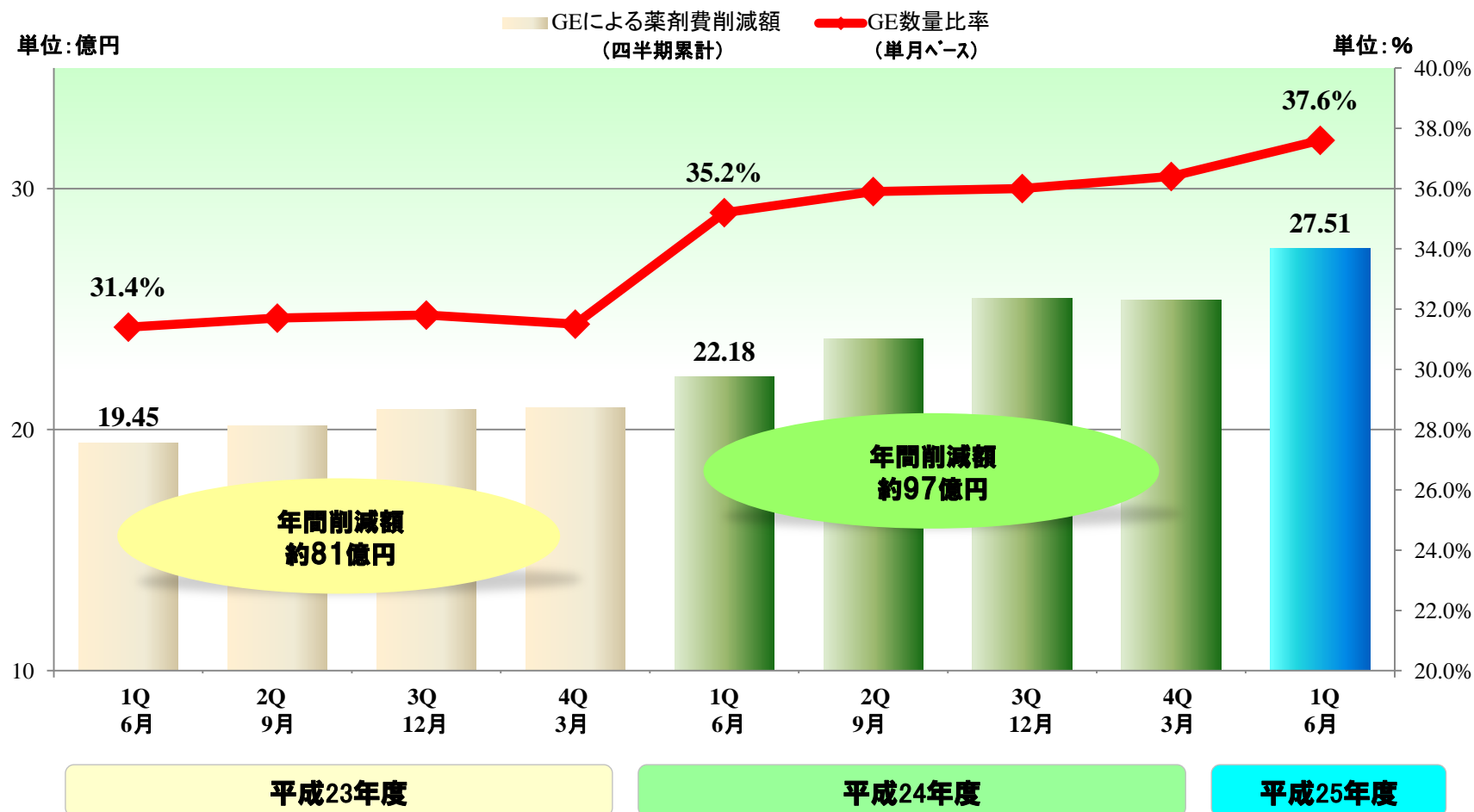
(単位:百万円)

	H25/6末 店舗数	H24/4-6	H25/4-6	増減額	増減率
既 存 店 (~H24/3)	409	30,604	33,170	2,566	8.4%
前 期 出 店 (H24/4~H25/3)	57	86	1,154	1,068	1,238.3%
今 期 出 店 (H25/4~H26/3)	14	—	178	178	—
そ の 他	—	47	0	△47	△100.0%
計	480	30,738	34,503	3,765	12.2%

- ・ 調剤売上のみ(OTC等含まず)、発生ベース(返戻再請求を反映せず)
- ・ 期中閉局店舗分はその他に集計しております
- ・ 店舗数に前年度中に物販専業に転換した1店舗を含む

地域	H24/4-6	H25/4-6	前年同期比(%)
	処方せん枚数(千枚) (構成割合)	処方せん枚数(千枚) (構成割合)	
北海道	242 (9.5%)	240 (8.8%)	99.2%
東北	247 (9.7%)	254 (9.4%)	103.1%
関東	1,253 (49.3%)	1,374 (50.5%)	109.6%
うち東京都・神奈川県	900 (35.4%)	990 (36.4%)	110.0%
甲信越	65 (2.6%)	71 (2.6%)	108.5%
東海	153 (6.0%)	171 (6.3%)	111.6%
関西・北陸	307 (12.1%)	326 (12.0%)	106.0%
中国・四国	167 (6.6%)	168 (6.2%)	100.8%
九州	107 (4.2%)	112 (4.1%)	104.9%
合計	2,544 (100.0%)	2,719 (100.0%)	106.9%

今年度に入り、変更不可の処方せんの減少を背景に、ジェネリック医薬品数量ベース使用比率の上昇基調が続いている。



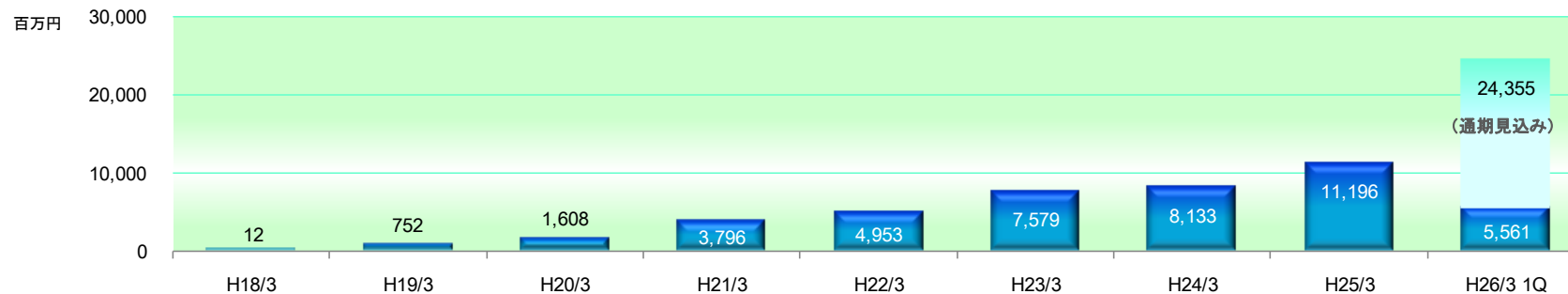
長生堂製薬の子会社化により、売上大幅増加。
 ただしグループ化に伴う費用が収益を圧迫。年度後半に向けて改善を見込む。

(単位:百万円)

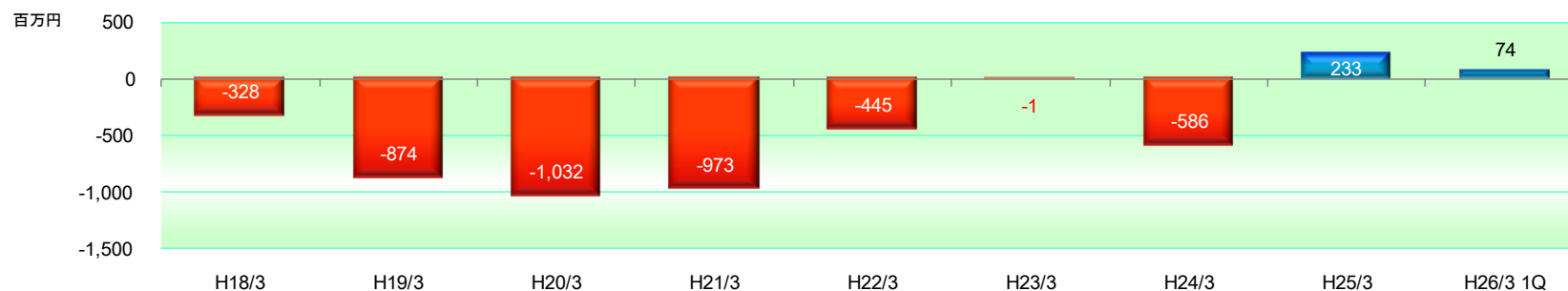
	H24/4-6	H25/4-6	増減額	増減率
売上高(連結消去前)	2,745	5,561	2,816	102.6%
営業利益	75	74	△1	△2.2%

セグメント売上高推移

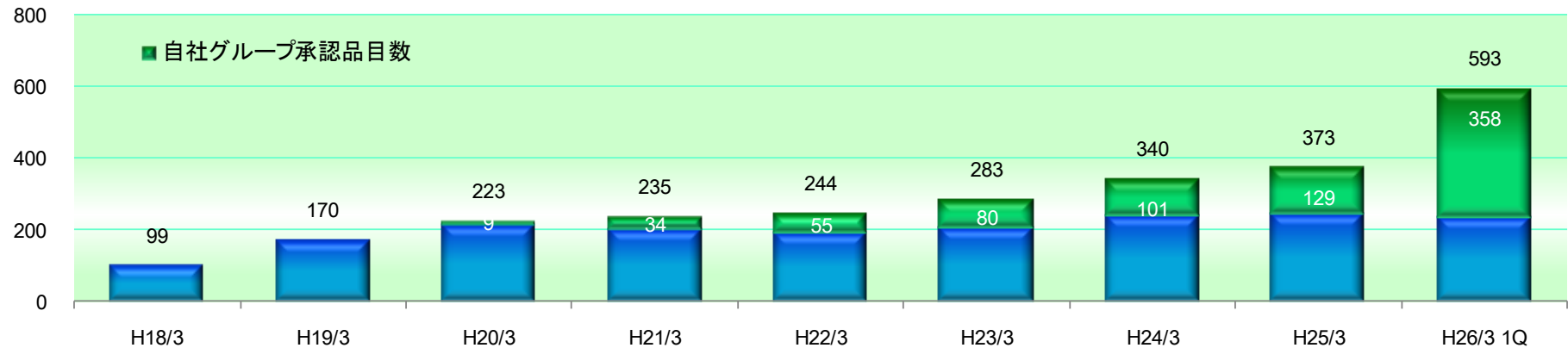
(※セグメント内取引消去後)



セグメント営業利益推移



販売品目数推移



平成25年6月 新規収載(13品目)

名称
タルチレリンOD錠5mg「JG」
アゼルニジピン錠8mg「JG」
アゼルニジピン錠16mg「JG」
リセドロン酸Na錠17.5mg「JG」
ロキソプロフェンNaゲル1%「JG」
ロキソプロフェンNaテープ100mg「JG」
ロキソプロフェンNaテープ50mg「JG」
ロキソプロフェンNaパップ100mg「JG」

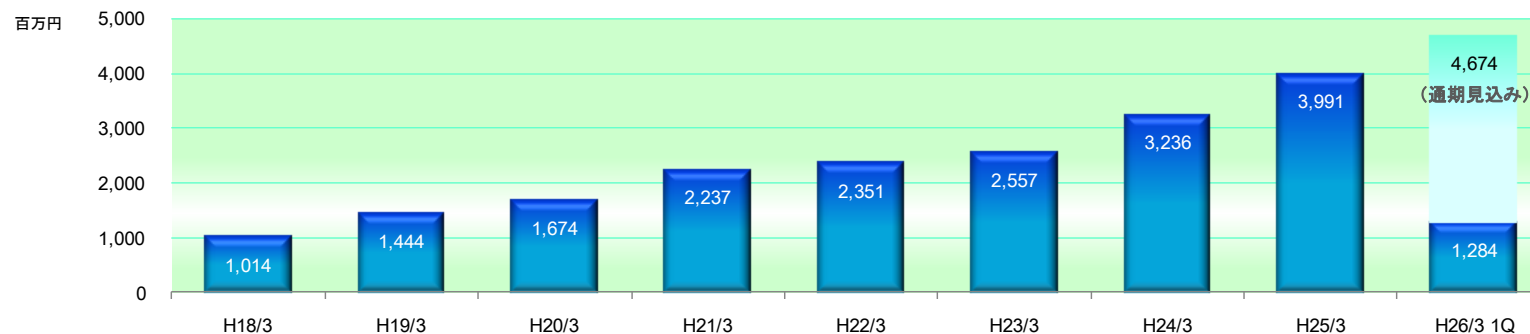
名称
アムロジピン錠10mg「JG」
アムロジピン錠10mg「CH」
アスピリン腸溶錠100mg「JG」
プラミペキソール錠0.125mg「JG」
プラミペキソール錠0.5mg「JG」

主力の薬剤師派遣を中心に好調、大幅増収増益達成。

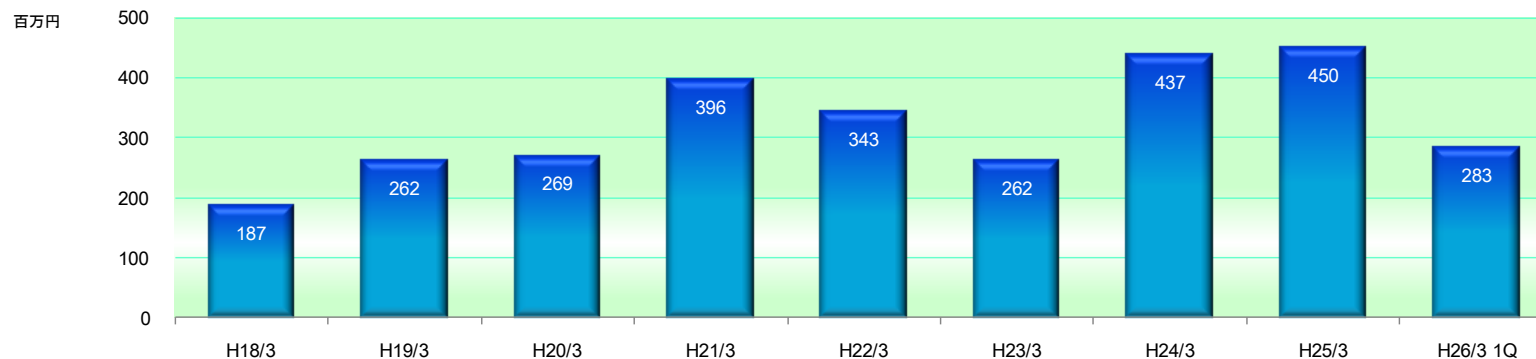
(単位:百万円)

	H24/4-6	H25/4-6	増減額	増減率
売上高(連結消去前)	1,037	1,284	246	23.8%
営業利益	222	283	60	27.5%

セグメント売上高推移



セグメント営業利益推移



●IRお問い合わせ先

日本調剤株式会社 経営企画部 IR担当まで

〒100-6737 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー37F

電話: 03-6810-0800(代表)

E-Mail: ir-info@nicho.co.jp

IR専用ページ : <http://www.nicho.co.jp/ir>